

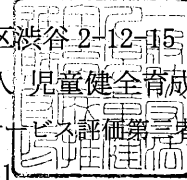
福祉サービス第三者評価結果報告書（平成 27 年度）

平成 28 年 2 月 22 日

社会福祉法人京都社会福祉協会
新林児童館 殿

〒150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 日本薬学会ビル 7F
 評価機関名 一般財団法人 児童健全育成推進財団
 （東京都福祉サービス評価第三者評価機関／機構 12-215）
 電話番号 03-3486-5141
 代表者氏名 理事長 鈴木 一光



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名	評価者氏名		所属
	①	阿南健太郎	児童健全育成推進財団第三者評価室主たる評価者 東京都評価者番号 H1201051
②	豊倉 厚	児童健全育成推進財団第三者評価室主たる評価者 東京都評価者番号 H1401038	
福祉サービス種別	児童館		
評価対象施設名称	新林児童館		
施設連絡先	所在地	〒610-1141 京都府京都市西京区大枝西新林町 4-3	
	電話番号	075-332-0214	
施設代表者氏名	館長 野田 雅子		
契約日	平成 27 年 7 月 2 日		
自己評価票回答期間①	平成 27 年 10 月 1 日～11 月 20 日	館長回答項目	
自己評価票回答期間②	平成 27 年 9 月 1 日～9 月 28 日	事務局回答項目	
職員調査票回答期間	平成 27 年 10 月 1 日～10 月 31 日	職員回答項目	
訪問調査日	平成 27 年 12 月 16 日	館長・事務局回答項目	

新林児童館評価結果

. リーダーシップと意思決定

1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	
1 事業所が目指していること（理念、基本方針）を明確化・周知している	
1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を明示している	確認済
2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	確認済
3. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	確認済
2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	確認済
2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	確認済
【講評】	
経営基本方針に則り、市民に向けた周知広報の努力があります	
<p>法人独自の経営基本方針に則り、各館では京都市児童館活動指針を活用し、その理念や方向性を確かめる機会があります。</p> <p>法人独自の児童館広報資料を作成し、就職希望者、潜在的希望者層等の市民に配付することにより、児童館運営の基本理念を周知しています。</p> <p>法人理事会等で議論されている内容は全て館長会議で周知されており、法人運営の状況を多くの職員が理解するようにしています。</p>	

・ 経営における社会的責任

1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		
1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		
1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などを明示している		確認済
2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳）などの理解が深まるように取り組んでいる		確認済
2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		
1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるよう取り組んでいる		確認済
2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法（事業者便り・会報など）で地域社会に事業所に関する情報を開示している		確認済
2 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		
1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		
1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している（施設・備品等の開放、個別相談など）		確認済
2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動（研修会の開催、講師派遣など）を行っている		確認済
2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		
1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢をもち、受け入れている		確認済
2. ボランティアの受け入れ体制を整備している（担当者の配置、手引き書の作成など）		確認済
3 地域の関係機関との連携を図っている		
1. 地域の関係機関のネットワーク（事業者連絡会など）に参画している		確認済
2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		確認済
【講評】		
透明性の高い法人・施設運営を目指した取り組みがあります		
<p>法人では、福祉サービス第三者評価を重要視し、運営しているほぼ全ての児童館で受審し、その結果を公表しています。</p> <p>法人では、児童館の他に保育所を運営しており、隣接する施設では情報共有を行いながら、子育て支援環境づくりを地域と協力しながら実施しています。</p> <p>京都市の地域子育て支援ステーション事業に積極的に関与し、児童館を核としながら、地域の関係機関との連携を進めています。関係機関職員や地域住民等がネットワークに参画していることから、自ずと児童館の活動を広く周知する機会となっています。</p>		

・利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

1 利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		
1 利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）		
1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		確認済
2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		確認済
2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		
1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		確認済
2. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		確認済
3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		
1. 地域の福祉ニーズの収集（地域での聞き取り、地域懇談会など）に取り組んでいる		確認済
2. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）の収集に取り組んでいる		確認済
<p>【講評】 利用者からの苦情に対し真摯に向き合い、運営に生かす仕組みがあります</p> <p>要望や苦情を利用者から発しやすいよう、アンケートをとることや、苦情解決体制を掲示や利用案内（しおり）などで周知しています。</p> <p>苦情については、内容、対応、結果をとりまとめ、法人役員会で報告し、館長会でも具体的に共有するようにしています。これにより、再発防止等を心がけています。</p> <p>法人事務局も個別の児童館での苦情やトラブルに対応する体制があり、利用者とのコミュニケーションを大事にしています。</p>		

・計画の策定と着実な実行

1 実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		
1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している		確認済
2. 年度単位の計画を策定している		確認済
3. 短期の活動についても、計画的（担当者・スケジュールの設定など）に取り組んでいる		確認済
2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている		確認済
2. 計画は、サービスの現状（利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など）を踏まえて策定している		確認済
3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
1. 計画推進の方法（体制、職員の役割や活動内容など）を明示している		確認済
2. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している		確認済
2 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
1. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している		確認済
2. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている		確認済
【講評】		
年間計画の質を高める努力をしています		
館独自に利用者調査（アンケート）を実施して、次回や次年度の事業計画に生かしています。		
利用者の増減状況を分析して、数値目標を設定しています。広報戦略や事業内容の配慮などを館長会議で情報共有し、目標設定に生かしています。		
今後、法人としての児童館運営に関する中長期ビジョン策定が期待されます。社会福祉法人改革と合わせ、法人経営における児童館運営の位置づけを検討していく用意があります。		

・職員と組織の能力向上

1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		
1 事業所にとって必要な人材構成にしている		
1. 事業所の人事制度に関する方針（人材像、職員育成・評価の考え方）を明示し、採用している		確認済
2 職員の質の向上に取り組んでいる		
1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		確認済
2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している		確認済
3. 職員一人ひとりの個人別の育成（研修）計画に基づいて、必要な支援をしている		確認済
2 職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		
1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		
1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		確認済
2. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		確認済
2 職員のやる気向上に取り組んでいる		
1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬（賃金、昇進・昇格、賞賛など）が連動した人材マネジメントを行っている		確認済
2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど）を把握し、改善に取り組んでいる		確認済
【講評】		
有能な人材を確保・育成することに積極的に取り組んでいます		
<p>法人独自の館主任制度を導入し、キャリア形成、役割発揮の機会づくりをしています。次期の館長候補者の育成システムの一環となっています。</p> <p>法人内派遣研修（他館に1週間派遣）制度があります。派遣職員はスキルアップにつながり、またレポートや報告会での発表などでの能力向上にもつながっています。また、館長職においては、人材育成スキルの向上にもつながっています。これにより、法人全体の人材育成機運が高まっています。</p> <p>女性の比率の高い職場のため、ライフステージに合わせた制度を設け、育児経験などが生かされるように配慮しています。また、男性職員を積極的に採用するため、男性職員の仕事の様子をまとめた職場案内資料を作成し、就職希望者に配付しています。</p>		

サービス提供のプロセス

1 サービス情報の提供

1 利用者や地域住民に対してサービスの情報を提供している

1. 利用者や地域住民が入手できる媒体で、児童館の情報を提供している	確認済
2. 利用者や地域住民の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	確認済
3. 児童館の情報を、行政や関係機関等に提供している	確認済
4. 児童館の利用促進につながるよう創意ある広報活動が行われている	確認済
5. 放課後児童クラブ利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている	非該当

【講評】

利用者だけでなく保護者や地域に対してもサービスの情報を発信しています。

「児童館だより」や乳幼児の保護者向けの「すまいる通信」はホームページで確認できるほか、公共施設や民生委員にも配付されています。また放課後児童クラブの保護者向けに「学童だより」も配布されています。地域にある生協の店舗にも「児童館だより」や行事の申込書を置いていただくなど、利用者への周知や利便性を工夫しています。

外の掲示版を活用して「今日のプログラム」を表示したり、お知らせ等で使用する漢字にはルビをふるなどして低学年でも理解できるよう工夫されています。

京都市役所の方針で放課後児童クラブは希望者全てを受け入れるため、項目5は非該当とします。

2 サービスの開始・終了時の対応 【放課後児童クラブ併設】

1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

1. 放課後児童クラブ利用の開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	確認済
2. 放課後児童クラブの内容について、保護者の同意を得るようにしている	確認済
3. 放課後児童クラブに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	確認済

2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

1. 放課後児童クラブ利用開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	確認済
2. 放課後児童クラブ利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	確認済
3. 放課後児童クラブ利用の終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	確認済

【講評】

入会時の説明会では、児童が安心してサービスを受けられるよう丁寧な説明や対応がなされています。

入会説明会では、「学童クラブのしおり」に基づいて、学童クラブ事業、児童館事業、緊急時対応、保険、春休みの対応、提出物、下館路等について周知しています。

入会に際して個々の性格や身体の事について不安を持たれている保護者に対しては、個別に相談に応じて不安の解消につとめています。

保護者も参加していただく入会式とは別に、新入会児童が新しい環境で安心してスタートできるよう2、3年生の児童が中心となって温かい雰囲気のもとに歓迎会を行っています。

利用の終了時には、個別の事情を配慮し保護者からの要望があった場合に限り4月以降も学校からの直接来館を認めて対応しています。

3 配慮を要する児童・家庭の個別状況に応じた計画策定・記録

1 定められた手順に従って情報収集、分析および課題設定を行い、子ども・家庭の課題を理解した支援を計画している

1. 配慮を要する子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	確認済
2. 配慮を要する子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	確認済
3. 支援内容は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して計画的に作成されている	確認済
4. 支援の計画は定期的見直しの時期と手順を定めている	確認済
5. 計画を保護者にわかりやすく説明している	確認済
6. 配慮を要する子ども・家庭の支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	確認済

2 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

1. 配慮を要する子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	確認済
2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	確認済

3 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	確認済
2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	確認済

【講評】

個別の課題や保護者の意向を踏まえて定期的に支援のあり方を見直しています
 配慮を必要とする事案については個別ケース記録に記載し、節目ごとに職員間で話しあって成長の振りかえりをおこない支援のあり方を見直しています。
 支援の継続性や連携が必要な場合は、保護者の意向を踏まえて保育園や学校とも情報共有しながら子どもの支援につなげています。
 職員は発達支援に特化した研修会や勉強会等に参加して専門知識やスキルを習得しています。

4 サービスの実施

1 遊びの環境整備を行っている

1. 遊ぶ際を守るべき事項（きまり）が、利用者に理解できるように決められている	確認済
2. 乳幼児から中高生までの児童すべてが日常的に気軽に利用できる環境がある	確認済
3. 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように環境を整備している	確認済
4. 幅広い年齢の児童が交流できる場が日常的に設定されている	確認済
5. 子どもたちの意見を述べる場や意見を生かす事業が提供されている	確認済

【講評】

子どもの意見や思いを尊重して遊びの環境整備が実現されています。
 館のきまりや、遊具や本の片付け方などの約束事は、内容を子どもが考えポスターに書いて貼りだしています。
 放課後児童クラブでは3、4年生中心に活動班をつくり、おやつメニューやミニ運動会、クリスマス会などのイベントの企画に参画できるようにしています。
 児童館では、小学生から中学生まで創造的に活動できるよう高学年クラブ、中高生クラブが登録制で組織され、お化けやしきや児童館まつりなどの大きなイベントの企画運営に携わっています。

2 乳幼児と保護者への対応を行っている

1. 乳幼児と保護者が日常的に利用している	確認済
2. 乳幼児活動が年間通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている	確認済
3. 保護者同士が交流する機会が設けられており、保護者が企画や運営に参加している	確認済

	<p>【講評】 保護者のニーズを把握して多彩な子育て支援プログラムを実施しています 年齢、月齢別の乳幼児クラブに加え、絵本や手遊び歌の定例的な開催、さらに「すまいる講座」として、ベビーマッサージやリトミックなどの多彩な支援プログラムを実施しています。 アットホームな雰囲気を大切にママカフェ、ランチタイムなど、母親同士が交流出来る機会を意識的に設けています。 利用者からのアンケートを活かして、保護者のニーズを事業に反映させていますが、保護者が企画や運営に参加する取り組みについては今後の課題となっています。</p>								
3	<p>小学生への対応を行っている</p> <table border="1" data-bbox="209 555 1481 824"> <tr> <td data-bbox="209 555 1318 589">1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している</td> <td data-bbox="1318 555 1481 589">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 589 1318 667">2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている</td> <td data-bbox="1318 589 1481 667">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 667 1318 745">3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている</td> <td data-bbox="1318 667 1481 745">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 745 1318 824">4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている</td> <td data-bbox="1318 745 1481 824">確認済</td> </tr> </table> <p>【講評】 放課後児童クラブ児童が多い中で、一般来館児童も一緒に楽しく過ごせるよう配慮しています。 限られたスペースのなかで、一般来館児童が自由遊びやクラブ活動なども放課後児童クラブ児童との区別なく一緒に楽しめるよう、部屋の使い分けを工夫するなどの配慮をしています。 国籍や発達上の課題の有無に関わらず、一緒に遊び生活できるよう子どもたちや保護者への理解をすすめています。 行事を実施する際には子どもの意見を取り入れて企画準備の段階から関わられるようにしています。</p>	1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している	確認済	2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている	確認済	3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている	確認済	4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている	確認済
1. 職員が個々の児童の状態や心理を考慮して適切に援助している	確認済								
2. 職員が個別・集団援助技術を念頭において、個人や集団の成長に向けて働きかけている	確認済								
3. 障害の有無や国籍の違いを超えて、児童と一緒に遊びお互いに理解を深める取り組みが行われている	確認済								
4. 行事やクラブ活動が、日常活動とのバランスや児童の自主性・主体性を育てることを意識して企画されている	確認済								
4	<p>中学生・高校生世代への対応を行っている</p> <table border="1" data-bbox="209 1205 1481 1317"> <tr> <td data-bbox="209 1205 1318 1238">1. 日常的に中学生・高校生世代の利用がある</td> <td data-bbox="1318 1205 1481 1238">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1238 1318 1317">2. 中学生・高校生世代の子どもが主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している</td> <td data-bbox="1318 1238 1481 1317">確認済</td> </tr> </table> <p>【講評】 今年度から中高生クラブを立ち上げて活動を支援しています。 小型館特有の限られた施設条件のなかで中高生の利用は多くはないが、縦のつながりを拓くために中高生クラブを立ち上げて活動を支援しています。 自発性、主体性を尊重して、大人の発想にはない中高生クラブが企画した独自の内容をなるべく実現できるよう、職員はコミュニケーションをとりながらサポートしています。 職員は、中高生クラブの支援を通して子どもたちとの信頼関係づくりに努め、新たな事業展開につながっていくよう心がけています。</p>	1. 日常的に中学生・高校生世代の利用がある	確認済	2. 中学生・高校生世代の子どもが主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している	確認済				
1. 日常的に中学生・高校生世代の利用がある	確認済								
2. 中学生・高校生世代の子どもが主体性や社会性を養えるような活動を継続して実施している	確認済								
5	<p>配慮を要する児童・家庭への相談等を行っている</p> <table border="1" data-bbox="209 1686 1481 1798"> <tr> <td data-bbox="209 1686 1318 1720">1. 子どもからの相談に日常的に対応できる雰囲気がある</td> <td data-bbox="1318 1686 1481 1720">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1720 1318 1753">2. 保護者からの相談に日常的に対応できる雰囲気がある</td> <td data-bbox="1318 1720 1481 1753">確認済</td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1753 1318 1798">3. 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている</td> <td data-bbox="1318 1753 1481 1798">確認済</td> </tr> </table> <p>【講評】 日常的に子どもの思いや保護者の相談を受けとめる雰囲気づくりを大切にしています。 アットホームな環境の中で、日頃から子どもの意見を大切にするなど、子どもが職員と話をしやすい雰囲気をつくることを大切にしています。 年2回の保護者懇談会終了後の時間帯や、10月に行われる個人面談会を通じて、保護者からの相談や要望を聞きとる機会を設けています。 個別状況に配慮し、子どもの発達の課題によっては介助ボランティアを活用して丁寧な育成支援を心がけています。</p>	1. 子どもからの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	確認済	2. 保護者からの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	確認済	3. 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている	確認済		
1. 子どもからの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	確認済								
2. 保護者からの相談に日常的に対応できる雰囲気がある	確認済								
3. 障害のある児童の利用に対する支援策が整っている	確認済								

6 地域の育成環境づくりを行っている	
1. 住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している	確認済
2. 地域社会で児童が安全に過ごせるような取り組みをしている	確認済
3. 児童館運営協議会等を設け、地域住民と共に育成環境づくりを検討する機会がある	-
<p>【講評】 地域連携の必要性を意識しながら健全育成事業を実施しています。 子ども育成事業や子育て支援事業の主要な行事は、地域の主任児童委員の連携、協力を得ながら実施しています。 児童館まつりの開催にあたっては、放課後児童クラブの保護者会（保護者の任意団体）の協力も得て行われています。 施設前の川の柵に、館独自でネットや危険を知らせる表示をするなど、地域児童への安全配慮をおこなっています。 児童館の健全育成活動を地域のマンパワーを活用して支える取り組みについては、今後の課題となります。</p>	
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	
1 子どものプライバシー保護を徹底している	
1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	確認済
2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	確認済
2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している	
1. 日常活動の中で子ども一人ひとりを尊重している	確認済
2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	確認済
3. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	確認済
4. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	確認済
<p>【講評】 館の基本方針として、子ども一人ひとりを尊重して支援しています 子どもや保護者の思いや価値観を尊重した支援を心がけ、職員間でも細かな情報を見逃さずに情報共有することを大切にしています。 個人情報の取り扱いには「プライバシー保護マニュアル」に則り、子どもの画像などの印刷物への掲載についても、保護者にあらかじめ承諾を得ることを徹底しています。 虐待の疑いや不登校など養育上の課題がある場合は、学校、子ども支援センター、保育園、主任児童委員等と連携して対応しています。</p>	

6 事業所業務の標準化

1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	
1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	確認済
2. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	確認済
2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	
1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	確認済
2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	確認済
3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	確認済
3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	
1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	確認済
2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	確認済
3. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	確認済
4. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	確認済
<p>【講評】</p> <p>館の基本方針を職員が共有し、業務を遂行する上で常に意識するよう心がけています</p> <p>職員は館の基本方針を共有し、「京都市児童館活動指針」を活用して日常の業務を点検しながら、業務を遂行しています。</p> <p>京都市全体の取り組みである他館に2週間派遣される「中堅派遣研修」の参加を通じて、自館の事業のあり方の見直しや、業務水準の向上や標準化につながる効果をあげています。</p> <p>保護者からのアンケートや、子どもからのリクエスト箱等を通じて、意見や要望を把握してサービスの向上につなげています。</p>	

・情報の保護・共有

1 情報の保護・共有に取り組んでいる	
1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	
1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	確認済
2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	確認済
2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	
1. 個人情報の保護に関する規定を明示している	確認済
2. 個人情報の保護について職員（実習生やボランティアを含む）が理解し行動できるための取り組みを行っている	確認済
<p>【講評】 ボトムアップでマニュアル策定を行っています</p> <p>プライバシー保護マニュアルの策定にあたっては、児童館勤務経験が長いプロパー職員・館長を中心に案を作り、館長会議で議論して作り上げました。</p> <p>プライバシー保護マニュアルの中には、館での具体的な行動について規定されており、現場に即したものとなっています。</p>	

総評

特に良い点

ポイント1	高学年クラブ、中高生クラブの活動を充実させ、継続的な利用につなげるための土壌づくりをしています
内容	設備環境の状況から、日常的な中高生の利用が多いわけではありませんが、進学後の利用につながる小学校高学年を対象とした高学年クラブを充実させています。また、今年度から中高生クラブを立ち上げ、中学生の利用が少しずつ増えています。中高生クラブでは、特に子どもの主体性を尊重し、中学生が企画したイベントを実現できるよう支援をしながら継続的な利用が定着するよう環境を整えています。
ポイント2	児童クラブ登録児童の誕生日カードを全家庭の保護者にも披露することにより、一人ひとりの子どもの成長を確認する機会となっています。
内容	毎月、誕生月の児童の保護者が、わが子の成長をお祝いしてメッセージを記入した誕生日カードを作成し、児童クラブの誕生会で披露しています。誕生日カードは縮小印刷をして全家庭にも配布する取り組みを行い、保護者全体で一人ひとりの子どもの成長を確認する機会となり、また日頃顔を合わすことが少ない保護者同士の交流にもつながっています。
ポイント3	館長会議が重要な役割を發揮しています
内容	児童館の状況を共有し、法人の考えを伝達する館長会議が効果的に行われています。市内17施設の児童館を運営する法人として、また館長も多様な経験・経歴を持っているため、情報の質が高いものになっています。そのため、切磋琢磨が生まれ、他館・自館問わず刺激しあっています。議題も現場から提案できる仕組みがあるなど、ボトムアップ型で児童館経営をしていく法人のスタンスが見て取れます。

改善が望まれる点

ポイント1	児童クラブ登録児童の入会後の「気づき」や「変化」については、記録として明記しておくことが期待されます。
内容	放課後児童クラブ登録児童の入会時に保護者から把握した、アレルギー対応、午睡の有無、宿題の働きかけなどについて職員間で情報共有がなされていますが、入会後の個別児童の「気づき」や「変化」などの情報は、市所定のフォーマットを超える範囲でも児童票などに記録として明記しておくことが育成支援を的確に進める上で期待されます。
ポイント2	マニュアルの一元的管理が期待されます
内容	基本的なマニュアルは法人本部として策定したものを提供しています。これに、地域性や設備等の状況に合わせて、各館独自の項目が付加されている部分があります。効果ある取り組みですが、本部に全館のものがフィードバックされていません。共有・分析することにより、基本マニュアルの精度を上げることができると考えられます。